
一日坊主と二日目の帳面女

衣魚

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

一日坊主と二日目の帳面女

【Nコード】

N8013Y

【作者名】

衣魚

【あらすじ】

これは三日坊主ならぬ一日坊主の、ちょっとばかり奇妙な日記の転載ショートショートである。

1月1日（日）晴れのち雪

先週から晦日にかけて来襲していた冬將軍は、ご来光に溶けてしまったかのように立ち去り、そのことはまさしく本年の吉兆を示しているのだらうと思って、暗い昨年から心機一転、今日から毎日日記をつけることにした。そのためこのように新たなノートを調達し、日記帳だけでなく筆記具も新しいのを購入し、そして今新たな気分で第一ページのまっさらなところに筆を走らせている次第である。何の形跡もない雪道に自分が初めて足跡をつけるというときのような、何とも言えない爽快感にも似た感情が溢れてきて気分が良い。

さて、今日は何をしただろうか。たしか隣のコンビニへ買い物に出た後コタツにもぐり いつの間にか夜になっていた気がする。つまり寝正月だったというわけだ。明日はきちんと活動し、日記に書き留めるネタを見つけられるようがんばろう。そのために今日は早く眠る。

一月二日（月）

もし。もし。もう二日が終わるわよ。起きなさい。起きなさいってば。

……ああ、まだこのお方は眠っている。夕ご飯を食べた後こたつに食われてあつという間にすう、よ。

ふう。私の声は帳面の白いところに文字として現れるだけ。音は

このお方に届きやしないから、何度呼びかけても起きるわけがないのよね。何とかしてここから出る方法はないかしら。

でも私はこのお方のことなら何でも知っている。だから代わりに日記を書いてあげようと思う。朝、放屁二回。昼、放屁四回。夜、放屁七回。あ。今放屁したから計八回。

ほらほら何でも知っている。あなたのことはいつだって私が見ていたのですよ。去年も一昨年も。だってあなたはいつも外へ出ないで部屋でごろごろでしたもの。

昨日だってそう。本当は外へ出ていないから買い物もしていない。日記には、ずっと部屋の棚で眠っていたノートを使ったのです。

そう、この私をね。

1月3日（火）曇り

何もない余白に不可解な文しょうがあらわれている事象に対してこのノートを焼却処分することにする。そして外に出る、外に出ようと思うから。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8013y/>

一日坊主と二日目の帳面女

2011年11月23日20時49分発行